すべてうまくいく飛龍

占いにウラあり ＝講座篇＝

竹村亞希子

龍とは何か。

雲を呼び雨を降らせる存在。天から恵みの雨が降って、大地が万物を育てる。循環。社会に大きな循環を巻き起こして繁栄させるのが龍の役割である。

人間界でいうなら、経営者が龍。リーダーは雲を呼んで雨を降らせなくてはならない。そして雲は従業員である。

長続きには「利見大人」

力を付けて本来の龍の特性を大いに発揮するのが飛龍の時代。読んで字のごとし、飛躍する龍。龍が飛ぶ。

こんな言葉がある。

「時に六龍に乗じ、もって天を御す」の六龍はそれぞれの龍のありとあらゆる姿形をいう。リーダーのありとあらゆる姿形である。その時その時に応じた働きがあり、その力を使いこなし、大いなる龍の働きを成していくこと。

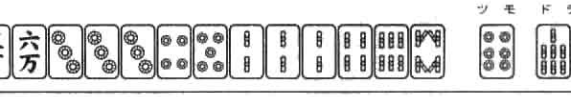
飛龍は天にある。

何でもかんでも、うまくいく。つきについている時期である。自分が台風の目の中心にいるかのような錯覚に陥るかもしれない。

飛龍は悠々と大空を駆け巡り、そのために必要な物はすべてそろう。それが飛龍の時代の大きな特徴だ。

飛龍の時代でもミスはある。しかしそのミスは、より大きな成果を得る結果となる。

やることなすことうまくいく。だがこの時代を持続するためには4字の条件がある。「利見大人（りけんたいじん）」だ。



問題

東場4局。2000点のマイナスで3位の東家。

トップとは9900点の差。相手の1人が満貫級をゲットし追う立場で親番を迎えた。ドラが[illegible]の6巡目に[illegible]入手の場面。

ここで次の応手が考えられるが、どう構えるのがいい？

❶[illegible]切り
❷[illegible]切り
❸[illegible]切り

何を切る？ 実戦麻雀

解答は左下に

❶年前

【6月5日】

イージス艦中枢情報の流出事件で神奈川県警などが舞鶴教育隊など捜索